

2/24
FRI

『庄内における高速交通基盤整備と地域活性化を考える』シンポジウム

■場所／東京第一ホテル鶴岡
■主催／庄内開発協議会
■参加者／224名



本シンポジウムは、産業を含む地域活性化に繋がる高速交通網の整備について、民間サイドから整備促進に向けて働き掛けを強め地元の熱意をアピールする機会とするため、2015年度より開催しております。

2018年度以来、5回目の開催となった今回は、国土交通省技監 吉岡幹夫様、株式会社JR東日本びゅうツーリズム&セールス代表取締役社長 森崎鉄郎様をお招きしご講演いただきました。また、

講演後は、共催団体である庄内開発協議会様より、主に日沿道の早期全線開通について盛り込まれた、庄内地域の高規格道路の整備についての要望書が、国土交通省 吉岡技監へ手渡されました。

加藤 鮎子衆議院議員をはじめ、庄内2市3町の首長、関係団体の方々より多数ご出席いただき、総勢224名の出席となりました。高速交通網整備や観光資源を活かした地域活性化についての理解を更に深める会となりました。

3/14
TUE

「酒田港ポートセミナーin庄内」



本セミナーは、鶴岡と酒田がこれまで以上に協同し庄内地区が一体となつて、より多くの方々が酒田港を利用されることで、更なる庄内の活力を生み出し、いきなりたいという想いから開催しました。併せて、山形県唯一の港湾である酒田港は貴重な物流拠点であると認識しており、昨今の円安基調の中で酒田港を活用した輸出入の活性化が、地域経済にとって好循環を生み出すものと考えています。

■場所／三川町なの花ホール
■主催／鶴岡商工会議所 酒田商工会議所
庄内地区商工会広域連携協議会
庄内地区商工会広域連携協議会
プロスポーツ協会のポータルサイト
■後援／鶴岡市・酒田市・山形県
■参加者／150名

本セミナーが酒田港の利用拡大に繋がり、港湾機能の整備拡充が促進され、企業誘致に伴う雇用創出や庄内地区の人口増加に繋がることを願っています。

2/27
MON

「選ばれる地域&お店作り」に役立つブランディングセミナー」



■場所／シヨウナイホテル スイデンテラス
■参加者／22名

相次いだが、全国旅行支援が始まりインバウンドが増加、その結果深刻な人材不足という課題が浮き彫りになった。しかし、もう以前の世の中には戻らない、そのような中で自分たちができることやお客様への思いを今一度整理することが必要。「コンセプトを大事にする運営・共感するお客様はリピーターに、そうでない方は再訪しない。ただし、ぶれてはいけない。「喜ばない」「とし、自身が経営する「アライブ・ホスピタリティ・デザイン」については、デザインとアートの違いは、あくまでもアートは自分のため、自己表現の世界。デザインは、他人のため、問題解決のためにある。目的達成

また、総支配人を務めるスイデンテラスの具体的な取組みについて、①基本的なホテル運営の軸をつくる（売上、顧客満足、従業員満足のバランスを見極める）②やらないことを決める（顧客の評価に左右されすぎないこと、やるかやらないか迷うのであれば「あえてやらない」③欠陥をなくすことと価値を高めることを分けて考えること等解説されました。

参加者には自社のブランディング戦略を考えながらセミナーを受講していただき、非常に参考になったと感想を述べられる方もおられました。

3/7
TUE

「事業承継セミナー」



山形県事業承継・引継ぎ支援センターのサブマネージャー 松浦智氏を講師に迎え、事業承継セミナーを開催しました。どの会社・お店でもいつか必ず起きるテーマである「事業承継」について、「事業承継の現状」「事業承継の考え方」「事業承継に関する支援・補助金」の3項目に分け、わかりやすく説明をいただきました。事業承継は「成長戦略」です。早期かつ計画的に取り組む必要があります。今すぐではなくとも、いつか必ずその時期は来ます。少しずつ考えてみましょう。

3/22
WED

「鶴岡未来づくりシンポジウム」

■場所／グラントエルサン
■参加者／112名



2001年に設立し、一昨年法人化した鶴岡サイエンスパークと鶴岡の地域内連携をさらに深めるべく、「鶴岡未来づくりシンポジウム」を開催しました。シンポジウムでは、サイエンスパーク代表理事 富田勝氏を講師に迎え、「鶴岡サイエンスパークの事業戦略」と題し、基調講演をいただき、その後「鶴岡・庄内を日本一おもしろい街に」をテーマに富田氏をコーディネーター、鶴岡の各分野で活躍するパネリスト5名を招きパネルディスカッションを開催しました。基調講演で富田氏は、「日本は偏差値やペーパー試験の点数などで『優秀』が決まるため、自分を含む学生たちは仕方なく受験勉強を続けてきた。ペーパー試験が優秀だった人たちが日本のリーダーになった結果、教科書に書いてあること以外が分からず、インバーションを起こせず、先進国の中で日本だけ経済成長できない状態が30年来続いてしまった。」慶應義塾大学は総合政策学部初代学部長の加藤寛氏の提言により国内初の

AO入試を導入した。高校生が貴重な10代の時間を受験勉強に費やすのはもったいない。ねじり鉢巻きでのガリ勉は時代遅れ。人物そのものを評価するAO入試は今や過半数の大学で行われている。」と述べ、また、「致道館の教えは徂徠学の教え。上から押し付けるのではなく、子供をのびのび育てられる環境が必要。致道館高校にはAOに特化したクラスの創設や各企業による特別研修生の受け入れを実施してもらいたい。公益学はSDGsそのものであり最先端の実学と言える。同大学の公立化は大チャンス。」と提言もされました。パネルディスカッションでは、「ものごと」の「本質」、「本物」とは何か? 「サイエンスパークと鶴岡の未来像をどう描く?」のテーマに対し鶴岡シルク(株)大和匡輔氏、Spider(株)関山和秀氏、(株)資生堂 鶴岡孝太氏、ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株)松田りら氏、当所会頭上野雅史氏の各パネリストよりそれぞれが考える「本質」や、鶴岡のこれからの発展への熱い思いを語っていただきました。

3/17
FRI

「中心市街地活性化研究会セミナー」



■場所／東京第一ホテル鶴岡
■主催／鶴岡商工会議所 地域活性化委員会・社会基盤整備委員会
■参加者／51名

本セミナーは、鶴岡市内中心市街地の現状を踏まえ、今後の在り方と活性化の方策について、ソフト面及びハード面の両面から研究を深め、中長期的ビジョンを構築することを目的とし、鶴岡商工会議所 地域活性化委員会・社会基盤整備委員会の両委員会が初めて開催いたしました。

第一回目の今回は、日本商工会議所 地域振興部部長 宮澤伸様、今井隆太様、まちづくりプラン研究所代表 牧昭市様をお招きし、ご講演いただきました。行政の関係各位をはじめ、関係団体の方々より多数ご出席いただき、総勢51名の出席となりました。講演を通して、今後のまちづくりの在り方について考えました。

3/20
MON

「事業承継支援に関する覚書締結」



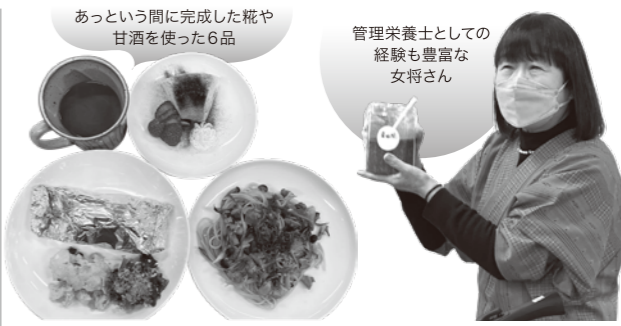
■場所／出羽商工会・日本政策金融公庫酒田支店との4者で「事業承継支援に関する覚書」を締結しました。事業承継は後継者不足や中小企業の休廃業の増加で喫緊の課題となっており、今回の覚書締結で情報交換のほか、日本政策金融公庫のマッチング支援につながる等、連携を深めていきます。



2/11 SAT

老舗醸造元の女将から学ぶ 「糀を使ったアレレンジレシピ」講座

講師／(資)鷺田民蔵商店
女将 鷺田裕美氏



あっという間に完成した糀や甘酒を使った6品

管理栄養士としての経験も豊富な女将さん

■場所／S・M・A・L・L
クッキングスタジオ
■参加者／14名(定員12名)
■協力／庄交トラベル

鶴岡ならではの旅行商品の造成として、市内クッキングスタジオを活用し、庄内地域在住者をターゲットとした料理体験教室を開催しました。

糀がもたらす健康効果について話を聞くだけでなく、実際に料理を作ってみることで糀は簡単・便利・万能調味料であることが分かり、参加者からは「自宅で糀を買って、もう一度作ってみたい」という声が多数上がりました。



会議所では引き続き一般市民に向けて鶴岡がユネスコ食文化創造都市であることを周知し、地元食材について再発見する機会を提供するとともに地産地消を推進して参ります。

2/19 SUN

地元食材を使った 発酵食セミナー

講師／料理家・国際中医師
国際中医薬膳師
井澤由美子氏



講師が考案した鶴岡庄内の食材を使った発酵食

NHKあさイチや雑誌などメディアで活躍中の井澤さん

■場所／湯田川温泉つかさや旅館
■参加者／16事業所
(飲食6、宿泊2、その他8)
■協力／DEGAM鶴岡
ツーリズムビューロー

昨年度からDEGAMと共に取り組んでいる、冬季観光コンテンツ開発事業の継続として、観光のおもてなしの現場で活用してもらうことを目的に、飲食店や宿泊施設を対象とした自然治癒力を高める発酵食の知識を学ぶセミナーを開催しました。セミナー中は活発な質問が飛び交い、講師との情報交換の様な場になるなど、薬膳の基礎「薬食同源」の考え方は、旬の食材を提供する鶴岡の料理の付加



価値になる可能性があることが分かりました。

コロナ禍を経て健康志向が高まり続ける中、事業所の皆様のアフターコロナに向けた食文化創造都市らしいサービス(メニュー)開発を支援するとともに、鶴岡の冬季観光の魅力向上に努めて参ります。

2/17 FRI

観光部会 酒田商工会議所 おもてなし部会との正副部会懇談会



■場所／ゆのはま100年キッチン ■参加者／12名

今回は、昨年湯野野浜温泉にオープンした話題のカフェで開催され、前半に湯野浜100年株式会社との取組について、同社取締役で観光部会副部長でもある株式会社亀やの阿部公徳氏から説明を受けました。後半は若年層に人気のカフェメニューをいただきながら両市の観光の動き等について意見交換を行いました。

今回は、両会議所の専務理事も出席し、アフターコロナにおいて両市の協力体制を強固にし、庄内地域が一体となって地域振興に努めていくことで合意しました。

3/7 TUE

運輸交通部会研修会



■出席者／7事業所

今回は、国土交通省東北運輸局交通政策部環境・物流課長の朝倉氏をお招きし、「地球温暖化問題への対応」について研修しました。

日本政府は2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言しています。運輸部門でのCO2排出量は全体の約2割、CO2排出量は緩やかな減少傾向にあるが、より排出削減を目

指さなければいけない状態です。運輸部門のCO2排出量のほとんどは自家用乗用車、その後に、飛行機、船、鉄道です。国土交通省としては、公共交通機関の利用促進やモーダルシフトの推進(自動車等で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換すること)を今後進めていくというお話がありました。国と直接意見交換ができ、とても有意義な時間となりました。

2/21 TUE

高校2年生就職ガイダンス



■参加者／7校
■参加事業所／31事業所
■場所／東京第一ホテル鶴岡

鶴岡・田川地区の高校2年生を対象に毎年開催している就職ガイダンスです。今回は管内7校から368人の参加がありました。

庄内産業振興センターで開催し(工業高校全日制のみ学校でオンラインにて実施)、講師である株式会社HRP・新井宏志氏より「社会

2/16 THU

高校生の地域雇用を 考える懇談会



懇談会は、今春と来春の卒業予定者の求人・内定状況について経過を確認しながら、高校と企業側双方の情報交換を行い、連携を深めながら高卒者雇用の一層の促進と定着を図るために開催しているもので、2年ぶりの開催となりました。

高校からは「企業の情報をもっと欲しい」「Uターン就職をしてみたい」「Uターン企業の魅力をもっと発信してほしい」という声がありました。企業からは「同期ができるように例年複数名の採用を計画している」「来年度もインターンシップや学内企業交流会等で積極的にアピールしていきたい」と、高卒者の人材確保に積極的にかがえましました。

3/18-19 SAT SUN

学生・Uターン 庄内就職説明会

3月卒業予定の学生(大学・短大・高専・専修学校等)や既卒者、Uターン就職希望者、そのご家族が対象で、1回30分の企業説明会を1日に6回転行しました。

2日間合計の参加企業は110社、参加者は対面142人、オンライン33人となりました。参加者は説明を聞いてみたい企業に足を運んだり、企業の方に声を掛けられブースに行ってみるといような方もいらっしゃいました。3月の情報解禁後ということもあり、自分の興味のある業界を中心に説明を聞きに回っていました。

企業を支える 人材確保のために

最近の高校新卒者の就職状況を見ると、ハローワーク鶴岡管内の求人倍率は平成31年度が2.53倍、2年度が2.69倍、3年度は2.47倍、4年度は2.96倍、5年度は3.21倍と非常に高い水準を維持しております。(※4年度は2月末での内定状況)

鶴岡地区雇用対策協議会では、時代の流れに適切に対応して、事業所の優秀な人材確保と若者の地元定着の促進に向けて活動しております。高校3年生を対象とした企業との仕事説明交流会、高校と企業・企業担当者同士の情報交換会、Uターン希望者の地元就職支援など、会員事業所の採用活動に資する事業を実施しております。

未加入の事業所様におかれましては、鶴岡地区雇用対策協議会へのご入会・事業の活用をぜひご検討ください。

高校新卒者の就職状況 資料/ハローワーク鶴岡

	卒業者数(人)	求職者数(人)	求人倍率(%)	就職内定人数(人)	
				県内就職	県外就職
31年3月卒	1,454	480	2.53	356	122
2年3月卒	1,444	449	2.69	308	137
3年3月卒	1,433	392	2.47	291	100
4年3月卒	1,359	338	2.96	254	80
5年3月卒	1,211	319	3.21	248	66

※5年3月卒は2月末での内定状況、他は最終確定数

2/28 TUE

外国人雇用セミナー



■参加者／11名(8事業所)
■場所／鶴岡商工会議所2階大会議室

昨年度まで実施していた女性・シニア層の活躍推進も人手不足を解消するための手立てとして有効的でしたが、女性・シニア層以外にも人手不足を解消できる手立ての一つとして、外国人労働者にも視野を広げてもらうことを目的に、「外国人雇用の流れと実情」と題してセミナーを実施しました。

行政書士事務所UMCサポート代表の池田有美氏より、外国人技能実習生とは何かという基本的なところから、雇う際の注意点、在留資格の種類や見方についてお話しいただきました。

また、実際に働くことになった際の関わり方についても教えていただきました。

TCC1雇用人材育成委員会・鶴岡地区雇用対策協議会からのお知らせ

女性会活動報告



1月26日(木) 美・健やかセミナー
『美しさは手元から』
ハンドマッサージ講座

講師:女性会親睦委員長
阿部直美氏
場所:EN/ME
出席者:18名

女性会会員でもある阿部直美さんを講師にハンドマッサージ講座を開催しました。会員のみ和気藹々とした雰囲気の中、楽しく学ぶことが出来ました。



2月17日(金)

講師:POWER GATE
代表 伊藤 祐輔氏
場所:グランドエル・サン
出席者:24名



新春のつどい

- ① 新春講話
『姿勢を変えれば すべてが変わる』
- ② 新春懇親会

昨年・一昨年と新型コロナウイルスの影響により開催できずにおりましたが、今回は3年ぶりに、お昼で形を変えて開催しました。

新春講話では体の状態が心を作る事、そして姿勢がいかに大切かを実際にその姿勢をしてみてもの体感をし、学ばせて頂きました。懇親会では、引き続き講師の伊藤様と、上野会頭をお招きし、会員と懇親を深めさせて頂きました。

青年部活動報告

令和5年度 鶴岡YEGスローガン

凌雲之志

～未来を見つめ 今を邁進～

令和5年度 青年部会長 尾川 勝洋
(有)尾川園



日頃より、青年部活動に多大なるご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年度に引き続き、鶴岡商工会議所青年部の会長職をお預かりさせて頂きます尾川勝洋と申します。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

3年に及ぶコロナ禍は地域経済に甚大な影響をもたらし、私達の活動も縮小や中止を余儀なくされる期間が続きました。一方、令和4年度は新型コロナに対する規制緩和もみられ、関係各所と連携し、計画した事業を遂行することができました。

さて、4月26日に開催した定時総会では、令和5年度の事業計画並びに予算が承認されました。今年度は、スローガン「凌雲之志～未来を見つめ今を邁進～」のもと「縁を繋ぐ志～会員拡大・増強～」、「地域を繋ぐ志～地域貢献～」、「思いを繋ぐ志～県内外団体との連携～」の3つの重点テーマを掲げ活動して参ります。持続可能な地域社会の実現に向けて、青年部活動を通して地域の発展と活性化を目指し、出会いと研鑽の場となる例会や事業を展開して参ります。



3月15日(水)

3月例会 卒業感謝状授与式

場所:東京第一ホテル鶴岡

令和4年度、最後の事業「3月例会卒業感謝状授与式」を開催し、7名の卒業を送り出すことができました。当日は、尾川会長より参加した卒業メンバーに感謝状と記念品が授与されました。



- ・(有)アトリエイマジン 渡部 芳幸 君
- ・エール代行 菅原 一幸 君
- ・(株)オーボナクイユ 丸山 孝一 君
- ・クックミートマルヤマ 丸山 浩孝 君
- ・百瀬商店 百瀬 徹 君
- ・(有)結城包装 結城 俊一 君
- ・(有)ロッソ 高橋 誠輝 君



アクサ生命

みんなと
会社の未来を
健康に。

Know You Can
そう、あなたなら、できる。

AXA-A2-2209-1161/9WD 「健康経営®」は、特定非営利活動法人日本健康経営協会の登録商標です。

やりがいが集まって、会社はつよくなる。

「離職率が下がっている」「生産性がアップしてきた」。いま、経営者の皆様のそんな声が増えています。それはきっと、アクサの健康経営による「やりがい効果」。心と身体の健康をケアすることはもちろん、ある会社では「仕事と治療の両立」や「社内サークル活動」などに取り組み、夢や生きがい、働きがいといった「社会的健康」までをサポートしています。社員一人ひとりがやりがいをもって働ける環境をつくり、会社全体も元気に変えていくために、アクサ生命がお手伝いします。

アクサ生命は、商工会議所と協力し、会員事業所の各種ニーズ(弔慰金・見舞金制度、退職金制度、リスク対策や事業承継など)を共済制度/福祉制度でサポートしています。

アクサ生命保険株式会社
山形支社 鶴岡営業所
〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町8-13
TEL 0235-24-0896

83%が実感!
アクサ式やりがい効果
※アクサ式導入企業75社のデータより

健康経営アクサ式

令和5年度 職員紹介

専務理事 高橋 健彦 | 理事 事務局長 兼 総務企画課長 七森 玲子 | 経営支援課長 丸山 奈美
経営指導員

総務企画課	課長補佐	三浦 千博	企画係 係長 鶴岡市から研修派遣 五十嵐 展	経営支援課	経営支援係 係長 経営指導員	森村 雄一郎	事業係 主任 経営指導員	中村 映子	
	総務係 主任 補助員	進藤 孝子	企画係 係長		渡邊 匠	経営支援係 主任 経営指導員	相田 涼	事業係 主任 経営指導員	齋藤 豪介
	総務係 主事	菅原 秋穂	主任 鶴岡市へ研修派遣		後藤 富実	経営支援係 主任 経営改善支援員	齋藤 智哉	事業係 主事 補助員	安達 亜未
	総務係 嘱託職員	森村 とも子	嘱託職員 (公財)庄内地域 産業振興センター出向		佐藤 玲子	経営支援係 主事 記帳専任職員	佐藤 成浩		
			臨時職員		佐藤 直美	経営支援係 主事 記帳専任職員	佐藤 大		